



Research Society

フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会主催  
**第 11 回 ナノカーボンバイオシンポジウム**

ナノカーボンバイオシンポジウムでは、ナノカーボン（フラーレン、カーボンナノチューブ、グラフェン、カーボンナノホーン、ナノダイヤモンドなど）のバイオ研究の成果発表を募集します。ナノカーボンの毒性・安全使用限界、医療応用、生体応答、細胞応答など多岐にわたるテーマに関して議論し情報交換することで交流を深め、ナノカーボンバイオ研究の発展を目指すことを目的としています。

日時：2021年8月31日（火）午前開始

場所：オンライン開催（Zoom 利用）予定

参加費：無料

発表形式：口頭発表（15-20分を予定）

【参加規約】発表者もしくは主催者の事前の承諾を得ることなしに、配信映像や発表資料の一部または全部をいかなる形式、いかなる手段によっても、複製、改変、再配布、再出版、ダウンロード、表示、掲示、録音、転送することを禁止します。

招待講演者（五十音順）：

**Alberto Bianco** (IBMC, CNRS)

演題：Design of multifunctional carbon dots for theranostic applications

**中山 勝文** (立命館大学 薬学部)

演題：免疫受容体による CNT 認識機構

**沼田 圭司** (京都大学大学院 工学研究科 材料化学専攻)

演題：SWNT とペプチドを組み合わせた遺伝子デリバリーシステム

**都 英次郎** (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)

演題：Bio Symphonic System Using Functional Materials

実行委員長： **湯田坂 雅子** 名城大学、産業技術総合研究所

実行委員： **佐藤 義倫** 東北大学大学院環境科学研究科

**平田 恵理** 北海道大学大学院歯学研究科

**高野 勇太** 北海道大学電子科学研究所

アドバイザー（五十音順）：

**小松 直樹** 京都大学大学院人間・環境学研究科

**芝 清隆** (公財)がん研究会がん研究所蛋白創製研究部

**横山 敦郎** 北海道大学大学院歯学研究科

特別アドバイザー：

**飯島 澄男** 名城大学大学院理工学研究科

会議内容に関する問い合わせ先  
名城大学/産総研ナノ材料研究部門  
湯田坂雅子  
TEL: 029-861-4818  
e-mail: m-yudasaka@aist.go.jp

申し込み先・その他問い合わせ先  
名城大学理工学研究科飯島教授室  
鎌田千絵  
TEL&FAX: 052-834-4001  
e-mail: chie@ccmails.meijo-u.ac.jp

## 第11回ナノカーボンバイオシンポジウムプログラム ☆オンラインミーティング☆

招待講演：50分（質疑応答含む） 一般講演：20分（質疑応答含む）

12:55 - 13:00	開会の挨拶およびオンライン開催の注意・お願い	湯田坂 雅子	座長 佐藤義倫
13:00 - 13:20	グラフェン表面のペプチド自己組織化構造の pH 依存性の評価	○本間 千柊, 早水裕平	
13:20 - 13:40	Fabrication and evaluation of single-walled carbon nanotube membrane for guided bone regeneration application	○Xu Y., Hirata E., Iizumi Y., Kimura S., Maeda Y., Okazaki T., Yokoyama A.	
13:40 - 14:30	<b>「招待講演」</b> SWNTとペプチドを組み合わせた遺伝子デリバリーシステム	沼田 圭司 (京都大学大学院 薬学部)	
	休憩 (5分)		
14:35 - 15:25	<b>「招待講演」</b> 免疫受容体による CNT 認識機構	中山 勝文 (立命館大学 薬学部)	座長 横山敦郎
15:25 - 15:45	ナノダイヤモンドの表面修飾によるホウ素中性子捕捉療法薬剤の創出	○西川 正浩, 鈴木 実, 小松 直樹	
15:45 - 16:35	<b>「招待講演」</b> Bio symphonic system using functional materials	Eijro Miyako (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)	座長 高野勇太
	休憩 (5分)		
16:40 - 17:30	<b>「招待講演」</b> Design of multifunctional carbon dots for theranostic applications	Alberto Bianco (CNRS)	座長 平田恵理
17:30 - 17:50	Exploration of macrophage polarization on titanium coated with carbon nanohorns	○Sadahito Kimura, Eri Hirata, Yuta Takano, Yukari Maeda	
17:50 - 18:10	Development of antibacterial carbon nanohorns against peri-implantitis	○Eri Hirata, Yuta Takano, Yukari Maeda, Sadahito Kimura, Masako Yudasaka, Atsuro Yokoyama	
18:10 - 18:15	閉会の挨拶	湯田坂 雅子	